

公益社団法人富山青年会議所
2022年度中期ビジョン

はじめに

富山青年会議所は、1952年4月6日に52名の青年たちによって、日本で29番目の青年会議所として設立されました。「明るい豊かな社会の実現」という基本理念の下、その時代や社会情勢を顧みて、地域（まち）の中期ビジョンを描き、その達成に向けた行動指針に基づいて運動・活動を行ってきました。

2012年からは、「とやまの10年先未来ビジョン」を掲げ、子どもからお年寄りまでもが互いの世代を尊重し、支え合う、またあらゆる機会が提供される地域（まち）を「理想の地域（まち）」として定義し、その実現に向けた運動・活動を続けてきました。「ひと」「組織」「地域」「JC」に有機的な結びつきを生み出すために、富山青年会議所が中心的な役割を果たし、共に多くの事業を実施してきました。2019年には第68回全国大会富山大会を開催し、その相乗的なつながりを発揮することができました。

富山青年会議所は創立70周年を迎える本年（2022年）、これまでのビジョンを見つめ直し、新たな行動指針を掲げて運動・活動を行っていきます。今まで築いてきた“つながり”をさらに大きく、さらに進化させることで、誰もが幸せを実感できる「明るい豊かな社会」への歩みを加速させていきます。

JCI TOYAMA 2022 VISION

WA がひろがる地域（まち）とやま

- 挑戦する文化とそれを応援する文化があるまち
- わかものも よそものも暮らしたくなるまち
- 自然と便利が両立するまち
- 誇りと余裕をもてるまち
- 多様な人が気軽につながれるまち

WA がひろがる地域（まち）とやまの実現へ向けた行動指針

○挑戦する文化とそれを応援する文化があるまち

- ・誰もが挑戦できる環境をつくる
- ・自分の意見や個性が尊重される社会をつくる

○わかものも よそものも暮らしたくなるまち

- ・行政や他団体と地域（まち）のにぎわいを共創する
- ・地域間・国際間の交流を促進し、関係人口の増加につなげる

○自然と便利が両立するまち

- ・自然環境への意識を啓発する
- ・とやまらしい景観を持続する
- ・スマートシティの実現に向けた新たな価値を提案する

○誇りと余裕をもてるまち

- ・市民一人ひとりが地域（まち）の魅力を理解し、自ら発信できる社会にする
- ・災害に強いまちづくり
- ・子どもを産み育てやすいまちづくり

○多様な人が気軽につながれるまち

- ・誰もが成長できる学びの機会を提供する
- ・経済的な充足につながるビジネスコミュニケーションを促進する

地域（まち）をより良くしたいという共通の想いを抱き、青年会議所、行政、民間企業、諸団体があるべき姿に向かって共に考え、共に行動することで、心がつながり（和）、人のつながり（輪）が生まれ、地域（まち）に驚きと感動（わ！）がひろがります。こうした運動・活動を継続することで、つながりが新たなつながりを生み、地域（まち）に「WA」がひろがっていきます。

“未来共創”がスタートしました！

富山市は2020年から「未来共創」の取り組みをスタートしました。「未来共創」とは、多様な人々がそれぞれの立場や世代を越えて対等な関係で対話を重ね、未来のビジョンを共有し、そこからバックキャスト（未来視点の発想法）で新しい価値を創造することを意味しています。

2020年9月には、その拠点施設として「Sketch Lab（スケッチラボ）」がオープンし、官民連携チームによって企画・運営されています。

「未来共創」の具体的な取り組みとして、目指すべき未来のビジョン

やその実現のための活動企画について検討する「とやま未来共創会議」（全5回）を開催しました。このプログラムは市内の幅広い世代・立場の参加者が、それぞれの考えるありたい富山の未来像について共有するとともに、その実現のために解決すべき地域課題を自分事として考え、行動するための一連のワークショップです。

「とやま未来共創ビジョン 1.0」はその中から生まれてきた市民が目指したいまちづくりの方向性です。

とやま未来共創会議の進め方

- 1 暮らしの課題を考える
2020.9.6

コロナ禍という状況も踏まえ、今の暮らしで困っていること検討し、それぞれが「大切なもの」「守りたいもの」「何かを考えました。」
- 2 理想の富山を共有する
2020.9.27

「大切なもの」「守りたいもの」について参加者同士が意見交換し、より共感度の高いものを取りまとめ、理想の富山のイメージを共有しました。
- 3 自分の理想の生活を描く
2020.10.18

理想の富山を踏まえ、自分自身の将来の理想の暮らしについて実際にスケッチしました。そのイメージをとりまとめたものが「とやま未来共創ビジョン 1.0」です。
- 4 自分事として活動してみる
2020.11.15, 12.20

未来のビジョンのうち、自分事として関わりたいものについて検討し、リーダーを中心としてグループごとに今後の活動企画を行いました。

